

# 大阪損保革新懇ニュース

99・1・20

NO. 7

大阪損保革新懇事務局 ○六(二三二)一〇九五  
大阪市中央区道修町三の三の一〇  
大阪屋道修町ビル五F 道修商事(株)内

## 私たちも「あじさか真さん」を応援します

仲間のみなさん

私たち「大阪損保革新懇」は昨年10月、「全国革新懇」の掲げる革新三目標(①国民本位の政治実現②自由と民主主義を守る③非核・中立の日本をめざす)実現と損害保険産業の民主化をめざして誕生しました。

発足総会日は225名でしたが、こんにち300名を越える仲間が「大阪損保革新懇」運動へ参加しています。しかし、発足からたった3ヶ月、この間も私たちを取り巻く状況は一層悪化しています。

自民党は国民の圧倒的多数が要求している「消費税を3%に」の声を無視し、バブルの責任を問うことなく銀行へ60兆もの支援を行っています。企業倒産・失業率は記録を更新し、国民の雇用不安・生活破壊・将来不安の増大に対して有効な対策は行わず、一方では従来型の大企業本位ゼネコン型の大規模公共投資策で打開を図ろうとしています。これでは消費不況が益々深刻になっていくことも明らかです。

昨年の参議員選挙で自民党は惨敗し、単独政権維持が困難になり、このほど「自民政権」が発足しました。「自自」の政権合意によって、消費税増税に道を開く「福祉目的税」、米軍の軍事行動に自動参戦をさせる「ガイドライン」、民意と逆行する「衆議院比例定数削減」など悪政の方向がよりはっきりしています。

金融界では新たに「日償銀」が破綻し、大手銀行の「貸渋り」は続いています。新たに野村證券の海外での多額な損失から赤字決算が明らかになり、生保でも新規契約の不振や既契約の解約によって業績は低迷しています。

損保でも自動車保険の値引き競争、自動車保険付加サービス競争、企業保険分野の火災保険料自由化競争などますます競争が激しくなっています。すべての損保経営者は「生き残り」をかけて、あらゆる「リストラ合理化・効率化」に従業員へのしわ寄せによって乗り切ろうとしています。

私たちはいま、損保経営者は競争に明け暮れるのではなく、経済危機と国民生活の不安が増大しているもどで、損害保険産業の「国民の安全と安心に役立つ」という社会的役割発揮に向けて努力することを強く求めます。

仲間のみなさん

日本の國政が自民党政治のもどでどうしようもない危機に陥っているのと同様に、いま大阪府の財政危機は地方自治体のなかで最も深刻な状況になっています。4年前、横山ノック知事候補は「オール与党」にレッドカードを「道路予算を削ってでも福祉を守る」と訴え、当選しました。この背景には、「オール与党」の府政を変えてほしいという府民の願いもあったと思います。

しかし、横山ノック知事は自らの公約を果たしたでしょうか。府民の願いに応えたでしょうか。

この4年間に行政されたことは、自民党府政をそのまま引きつぎ、ゼネコン中心の「開発会社」の道を一層突き進み、全国一の赤字財政自治体になったことでした。昨年に発表された「財政再建プログラム」は教育・福祉・医療の大幅な切り捨てを行うというものでした。府民の強い反対の声に「府立高校入学金10倍値上げ案」は否決されましたが、なおノック知事は「府民も痛みを分かちあってほしい」と発言しています。私たちは「ノック知事! 私たちはもう十分に痛いのです。もうこれ以上の痛みはいりません」と強く訴えます。

この4月、大阪府知事選挙を迎えます。私たちは中小企業の多い大阪ではこんな不況のときこそ自民党の悪政から府民の命と暮らしを守る府政の実現が必要だと思っています。

こんな時、元関西大学教授「あじさか真(まこと)」さんが「景気回復、福祉・医療の充実で府民のいのちと暮らしを守る府政を」を掲げて大阪府知事候補として立つことを決意されました。

私たち損害保険に働く多くの仲間は、大学時代や関西勤労者教育協会の講義を通じて「あじさか」さんが国民・平和・社会進歩の立場に立つ信念をもつ大変誠実な人であることを知っています。府政を変えてくれる人だと確信しています。

本日開催した「大阪損保革新懇」第3回世話人会では、「あじさか」さんが掲げている政策・方針を検討し、これらは私たち革新懇の規約・スローガン・結成アピールと同じ立場・方向のものであることを確認しました。

ここに私たちは「私たちも「あじさか(真)さん」を応援します」のアピールを採択し、革新府政実現のため職場の仲間、家族、友人、知人に力一杯呼びかけていくことを確認しました。

仲間のみなさん 「あじさか」知事実現のためともに奮闘しようではありませんか。

1999年1月18日

大阪損保革新懇第3回世話人会